

平成22年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	75	学校名	県立並木高等学校										学校長名	井坂 隆				
副校長名	宮本 憲二														事務(室)長名	古宇田 新市		
教職員数	教諭	36	養護教諭	1	常勤講師	1	非常勤講師	4	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	4	技術職員等	3	計	53		
生徒数	学科	1年		2年		3年		4年		5年		6年		合計		合計クラス数		
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女			
		85	81	89	110	84	111							258	302	14		

2 目指す学校像

- 1 「つくば」とともに、「つくば」が持つ使命（ミッション）を共有した、未来を切り拓く人材を育成する学校
- 2 生徒一人ひとりを大切にするとともに、地域に信頼され、生徒に力（「社会力」「学力」「体力」）と夢を提供する学校
- 3 中等教育学校への移行がスムーズに進む学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
進学指導	学年主導で進路学習の計画がなされている。生徒の現状をふまえ、外部の人的資源も使いながら効果的な学習がなされている。	受身的な生徒に、様々な機会に主体的に自分をみつめさせ、進路実現の方策として自学自習を促す。
生徒指導	全体的に問題行動はみられず、良好である。遅刻カードの導入により遅刻が減ってきている。	人間関係能力の低下が課題である。スクールカウンセラーによる構成的グループエンカウンター等、教育相談を充実させる。
特別活動	各行事を中心となる実行委員の希望者が減少し、生徒による企画・運営力が低下してきている。部活動加入率も低下しており、学業との両立を理由に退部する者もいる。	生徒の自己管理能力を高め、本校で身につけさせたい人間力（「社会力」「学力」「体力」）を教員全体が確認し、バランスのとれた育成を目指す。

4 中期的目標

- 1 あらゆる教育活動を通して、人としての生き方・在り方を学ぶことにより人間力を培い、更に、学習で得た知識を操作する総合的な力を伸ばし、未来のトレンドを読む力を育む。
- 2 授業方法の工夫改善により、生徒の学習意欲を高め、理解を深めさせる。自学自習を促し、学力の向上を図る。
- 3 保護者や地域住民との連携を強化し、「つくば」の持つ使命を敏感に察知することに努め、新たな学校作りをする。
- 4 生徒会・部活動・学校行事の活性化を図り、生徒の帰属を高め、自己を見つめる機会とする。
- 5 教育相談活動を更に充実させ、生徒の人間関係調整能力を高めるとともに、生徒・保護者のケアに努める。
- 6 企画部を中心として、中等教育学校へのスムーズな移行のための諸問題の解決に当たる。
- 7 高校と中等教育学校が併存する過渡期に合った学校運営の組織や体制の研究・点検を進める。

5 本年度の重点目標

重点項目	重点目標
1 意欲ある学校風土の醸成	① 人間として恥じることのない、知識を操作するための、人間力を培う教育 ② チャイムからチャイムまでの授業とシラバスを使った効果的な学習 ③ 教職員の意識改革 ア 過去のトレンドの払拭 イ 地域との連携
2 進路希望の実現，特に将来の夢を語る生徒の育成	① 個人面談の重視と進学ガイダンスの充実 ② 多様な進路情報の提供（たとえば、学校・学年発行のメールマガジンの充実） ③ 職業観・勤労観の育成
3 すこやかな心と体の育成	① 基本的な生活習慣の確立 ② 生徒会活動，学校行事等への一般生徒の参加意識を高揚 ③ 安全教育の推進（たとえば，自己防衛意識と自己管理能力を高める指導）
4 中等教育学校へのスムーズな移行，特に未来のトレンドを読む力の育成	① 全職員の共通理解と校内体制の充実 ② 広報活動の充実 ③ 小学生とその保護者等への説明会の実施

